



2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月8日

上場会社名 株式会社フィックスターズ 上場取引所 東
 コード番号 3687 URL https://www.fixstars.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木聡
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀美奈子 TEL 03-6420-0751
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第1四半期の連結業績（2018年10月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	1,732	49.9	275	8.2	276	8.2	183	2.5
2018年9月期第1四半期	1,156	12.0	254	104.6	255	149.9	179	151.2

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 177百万円 (△4.9%) 2018年9月期第1四半期 186百万円 (99.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	5.54	5.54
2018年9月期第1四半期	5.40	5.39

(注) 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、2018年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第1四半期	3,236	2,648	80.6	79.05
2018年9月期	3,607	2,966	81.4	88.44

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 2,609百万円 2018年9月期 2,935百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2019年9月期	—	—	—	—	—
2019年9月期（予想）	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,801	18.2	561	16.2	560	15.6	384	8.7	11.59
通期	6,000	13.7	1,173	6.6	1,172	5.3	785	△4.6	23.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期1Q	33,590,000株	2018年9月期	33,575,000株
② 期末自己株式数	2019年9月期1Q	580,510株	2018年9月期	382,710株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期1Q	33,117,435株	2018年9月期1Q	33,159,910株

(注) 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、2018年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しております。

（日付の表示変更について）

当第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続くなか、緩やかな回復基調で推移いたしました。また、海外経済につきましても、通商問題の動向が世界経済に与える影響については留意する必要があるものの、引き続き緩やかに回復いたしました。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、お客様の高速処理のパートナー企業として、従来からのマルチコア向けソフトウェア開発サービスに加えて、ストレージ関連ソフトウェア開発サービスの2つを当社の事業の柱として、併せて関連するミドルウェア及びハードウェアの販売を展開しております。

主力のソフトウェア・サービス事業では、マルチコア向けソフトウェア開発サービスにおいて、自動運転を対象としたアルゴリズム開発や高速化案件、医療機器やFA機器向けの組込みソフトウェア案件及び金融分野やディープラーニングを対象とした高速化案件等を中心に継続的に受注しております。また、ストレージ関連ソフトウェア開発サービスにおいては、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が継続しております。加えて、AIによるソフトウェア開発マネジメントサービスや量子コンピュータに関連する研究開発を行い、新たな収益モデルの確立に向け新規事業の育成に取り組んでおります。

当社グループが開発したソフトウェア等が稼働するハードウェア基盤を開発、提供するハードウェア基盤事業では、画像処理プロセッサ搭載演算ボード等の量産納入を中心に、引き続き安定して受注しております。

海外事業では、米国子会社のFixstars Solutions, Inc. が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、研究機関等を対象とした高速化案件の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、1,732,794千円（前年同期比49.9%増）、営業利益275,849千円（前年同期比8.2%増）、経常利益276,025千円（前年同期比8.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益183,570千円（前年同期比2.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

(ソフトウェア・サービス)

ヘルスケア、産業機器及び車載分野では、高精細・高解像度画像のリアルタイム処理等を実現するソリューションを提供しております。フラッシュストレージ分野では、半導体メーカー向けのファームウェア開発を中心にサービスを提供しております。金融及びHPC分野では、リスク管理等のシミュレーションやHFT（High Frequency Trading）の高速化ソリューションを中心にサービスを提供しております。また、量子コンピューティング事業においては、各種アニーリングマシンの活用を進め、量子コンピュータの導入支援の拡大に努めております。

この結果、売上高は1,026,759千円（前年同期比18.2%増）、セグメント利益（営業利益）は、206,521千円（前年同期比3.5%減）となりました。

(ハードウェア基盤)

画像処理プロセッサ搭載演算ボード等の量産納入が長期継続中であり、加えて、画像処理に利用されるストレージ・サーバ等のスポット案件が大きく寄与いたしました。

この結果、売上高は706,035千円（前年同期比146.0%増）、セグメント利益（営業利益）は、69,328千円（前年同期比68.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて370,616千円減少し、3,236,468千円となりました。これは、現金及び預金が555,910千円減少した一方で、電子記録債権が109,471千円増加したこと等が主な要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて52,397千円減少し、588,388千円となりました。これは、未払法人税等が113,114千円、賞与引当金が37,668千円減少した一方で、買掛金が81,712千円増加したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて318,219千円減少し、2,648,080千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を183,570千円計上した一方で、当社において配当金を232,346千円支払ったこと、自己株式を262,665千円取得したこと等が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の業績予想につきましては、2018年11月7日付の「平成30年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,676,189	1,120,279
売掛金	1,149,990	1,197,775
電子記録債権	374,038	483,510
商品及び製品	224	9,077
仕掛品	30,832	38,212
その他	19,818	66,184
流動資産合計	3,251,094	2,915,038
固定資産		
有形固定資産	69,541	68,313
無形固定資産		
その他	15,854	13,712
無形固定資産合計	15,854	13,712
投資その他の資産		
投資有価証券	39,115	25,108
繰延税金資産	77,340	61,426
その他	154,140	152,868
投資その他の資産合計	270,595	239,403
固定資産合計	355,991	321,429
資産合計	3,607,085	3,236,468
負債の部		
流動負債		
買掛金	158,908	240,621
未払法人税等	182,184	69,069
賞与引当金	68,685	31,017
その他	231,007	247,679
流動負債合計	640,785	588,388
負債合計	640,785	588,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,868	551,768
資本剰余金	454,125	455,025
利益剰余金	2,203,257	2,154,482
自己株式	△287,056	△549,721
株主資本合計	2,921,195	2,611,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,837	11,119
為替換算調整勘定	△6,552	△13,315
その他の包括利益累計額合計	14,284	△2,196
非支配株主持分	30,819	38,722
純資産合計	2,966,300	2,648,080
負債純資産合計	3,607,085	3,236,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
売上高	1,156,022	1,732,794
売上原価	682,853	1,152,458
売上総利益	473,169	580,336
販売費及び一般管理費	218,212	304,487
営業利益	254,956	275,849
営業外収益		
受取配当金	365	487
未払配当金除斥益	426	606
助成金収入	250	—
為替差益	—	1,021
その他	161	17
営業外収益合計	1,203	2,132
営業外費用		
支払利息	556	1,322
支払手数料	—	634
為替差損	490	—
その他	28	0
営業外費用合計	1,075	1,956
経常利益	255,084	276,025
税金等調整前四半期純利益	255,084	276,025
法人税、住民税及び事業税	61,569	62,690
法人税等調整額	14,123	19,708
法人税等合計	75,692	82,398
四半期純利益	179,391	193,626
非支配株主に帰属する四半期純利益	294	10,056
親会社株主に帰属する四半期純利益	179,097	183,570

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	179,391	193,626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,506	△9,718
為替換算調整勘定	455	△6,763
その他の包括利益合計	6,962	△16,481
四半期包括利益	186,354	177,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186,059	167,089
非支配株主に係る四半期包括利益	294	10,056

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年11月14日開催の取締役会決議に基づき自己株式197,800株を取得しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が262,665千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が549,721千円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	868,969	287,052	1,156,022
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	868,969	287,052	1,156,022
セグメント利益	213,902	41,053	254,956

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	1,026,759	706,035	1,732,794
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,026,759	706,035	1,732,794
セグメント利益	206,521	69,328	275,849

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。